

社長記者会見を書面で開催しました

本日、当社は夏季社長記者会見を予定していましたが、新型コロナウイルスの全国的な感染再拡大と、当社でも感染者が出たことなどから、書面での開催といたしました。

代表取締役社長の三村景一から発表した事項は下記の通りです。

記

【新型コロナウイルス感染拡大への対応状況】

●感染防止と放送継続のための取り組みについて

4月に岡田公伸取締役が新型コロナウイルスに感染し、亡くなりました。これ以降、社内に強い危機感をもって感染拡大防止に努めてまいりました。その後社内に複数の感染者が出て、この記者会見も対面での実施を見送らざるをえなくなったことについては誠に残念ですが、幸いいずれの事例も社内に二次感染が広がるということにはなっていません。感染防止策が適切に講じられた成果だと感じています。

誰もが不安で不自由な生活を強いられる中、少しでも安心できる情報と、心安らぐエンターテインメントをお届けすることが放送局の使命ですが、番組制作の現場も大変な制約を受ける中、折々の状況に相応しい番組を放送し続けることは容易ではありません。視聴者、リスナーの皆さまからすると十分とは言えないかも知れませんが、リモート出演のための機材設置、アクリル板の設置をはじめとするセットの見直し、出演者・スタッフの人数の絞り込み、班分け、ゾーニング、またそれらを支えるシステムの構築にいたるまで、全社一丸となって取り組んだ成果は少しずつあらわれていて、中にはいくつかの「ポストコロナ」へのヒントがあるように感じています。

●「ポストコロナ」の放送のあるべき姿について

「コロナ以前に戻す」ことに汲々とするのではなく、ポストコロナの放送のあり方、演出の仕方を模索していく必要がありますが、各番組の取り組みから感じたことを述べます。

コロナ禍のなか奮闘する人々を取材し紹介しつづけている「情熱大陸」が、ギャラクシー月間賞を受賞するなど高く評価いただきました。今見たいものをお届けするのは当たり前のこととはいえ、それを愚直に実行することが大事だということです。また「サワコの朝」では、ニューヨークからミュージシャン大江千里さんに、京都大学の研究所から多忙な山中伸弥教授にご出演いただくことが出来ました。リモートでしかご出演いただけないという逆境を活かしたといえます。

ローカル番組でも、来月16日に生放送される「歌ネタ王2020」では、例年のように一般の方々にスタジオ観覧にお越しいただけないので、新たにParaviで全国に向けてライブ配信を予定しています。また、SNSのインフルエンサーと生放送を盛り上げる企画にも挑戦し、地上波テレビの模様を、どんどんSNS上に発信してもらい、全国の皆さんにも楽しんでもらえるような仕掛けを現場では考えています。

私たちが在阪局には、予算などで在京局には到底太刀打ちできないという制約の中から、「ああそんな方法、切り口があったのか」と思っていただけのような番組を創り出してきた経験があります。以前なら乗り越えられなかったような制約が、技術革新のおかげで簡単にクリアできる例も少なくありません。今後、これら逆境から生まれた工夫や経験から、新しい時代に即した番組作りの手法が生まれてくることに期待しています。

●コロナ禍の経営への影響

特にテレビスポット収入の落ち込みが大きく、今年度の業績は5月末時点での予想を下回る可能性もあります。これまでも収益が落ち込むことは何度もありましたが、景気が回復すれば業績も持ち直してきました。そのせいか、その都度損益構造の見直しが必要だと叫ばれてきたものの、抜本的な見直しにはいたってこなかったという反省もあります。

現在は本当に厳しい正念場ですが、真の改革を実現する絶好の機会だと受け止め、社内で検討を進めているところです。

【ラジオ分社の期日を2021年4月1日とすることについて】

今年5月に毎日放送ラジオ分割準備株式会社を設立し、当社のラジオ事業を分割、独立した会社で行うことを発表しました。この際、事業開始の期日を2021年10月1日としていましたが、この計画を半年前倒し、4月1日に事業開始することを決めました。

当社のラジオ事業が将来にわたって発展していくには、迅速な経営判断と機動的な業務執行が不可欠であり、またradikoやワイドFMなど音声メディアの可能性が広がる中、自主独立の精神で新しいビジネスに果敢に取り組む必要があります。

当初は開局70周年を迎える2021年秋に、新しい会社と新しいタイムテーブルで再出発する計画でした。長期的な経済環境の悪化が予測される中、早急に今後のラジオ事業の在り方を固め、対策を立てていく必要があることに加え、独立した新しい会社で来秋の改編に向け準備するのが相応しいとの判断にいたりしました。

したがって、来年10月にはリスナーの皆さまに新しいタイムテーブルに生まれ変わった毎日放送ラジオをお届けできると思いますので、ご期待いただきたいと思います。

【SDGs(持続可能な開発目標)に関する取り組み】

新人から超ベテランまで、17人のアナウンサーによる「SDGs 17人のアナウンサー」(仮)というコーナーを、10月から「ちちんぷいぷい」でスタートさせます。2015年に「国連持続可能な開発サミット」で採択されたSDGsは「飢餓をゼロに」「働きがいも経済成長も」「海の豊かさを守ろう」など、17項目の目標を掲げて全世界に行動を呼びかけています。

テレビでは今年4月から「ゴエが行く！らいよんチャンSDGsニュース！」(毎週月曜午後10:57-11:00放送)を放送していますが、当社は在阪局で唯一「国連SDGメディア・コンパクト」に参加していて、この呼びかけに賛同するものとして一層取り組みを強めていきます。

隊員に選ばれた17人のアナウンサーは、一人ひとりが自分のテーマとして割り当てられた17項目の課題に取り組み、その模様を「ちちんぷいぷい」でご覧いただくということです。SDGsは2025年大阪・関西万博のメインテーマにもなっていて、万博の成功を願う関西の放送局としてこの取り組みを続けていく予定です。

以上